

各位

2018年5月8日

株式会社アプリックス

(コード番号:3727 東証マザーズ)

AI アシスタント(スマートスピーカー)対応家電の開発支援サービスを開始

～ IoT モジュールから保守まで提供し、Amazon Alexa と Google アシスタント対応を支援 ～

IoT(Internet of Things)製品向けソリューションの開発を手掛ける株式会社アプリックス(本社:東京都新宿区、代表取締役 兼 取締役社長:長橋賢吾、以下「アプリックス」)は、スマートスピーカーを使って日本語の音声で家電を操作するための「AI アシスタント対応家電開発支援サービス」を、2018年5月8日に提供開始しました。アプリックスは、AI アシスタント対応に必要なIoT モジュール、アプリケーション、クラウドサービスなどを一式まとめて提供することができること、加えて Amazon Alexa と Google アシスタントの両方に対応可能という強みを活かして、日本の家電メーカーなどに積極的に提案していく予定です。

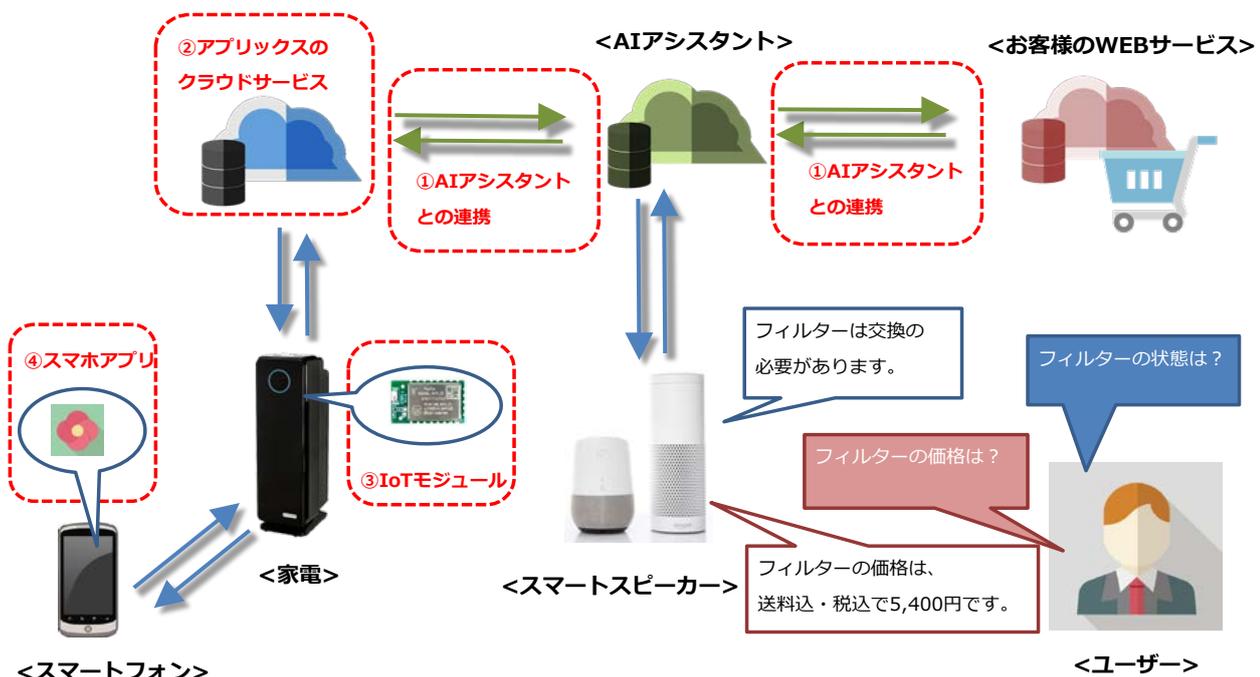
「スマートスピーカー」とは、インターネットに接続し、ユーザーと対話することによって、音楽の再生、インターネットの検索、IoT 家電のコントロールといったさまざまな操作を行うことができるスピーカーです。音声認識やコマンド解析などは、クラウド上の「AI アシスタント」が行っています。AI アシスタントには Amazon.com, Inc.の「Amazon Alexa」、Google LLC の「Google アシスタント」、Apple Inc.の「Siri」などがあります。

アプリックスが提供する「AI アシスタント対応家電開発支援サービス」は、コンサルティング、開発支援または受託、IoT モジュール(無線 LAN などを使って家電がインターネットに接続するために、家電に組込む小型の基板)の提供などを通じて、お客様の家電をスマートスピーカーで操作できるようにするもので、次のような特徴があります。

(1)2種類の AI アシスタントに対応

Amazon Alexa と Google アシスタントの両方、またはどちらかの AI アシスタントに対応可能です。現在、日本語と英語に対応しています。他の言語対応についてはお問い合わせください。

(2)家電の AI アシスタント対応に必要なものをトータル提供



アプリックス提供箇所の構成イメージ図

アプリックスは、上の図の赤い点線部分(①AIアシスタントとの連携、②アプリックスのクラウドサービス、③IoTモジュール、④スマホアプリ)を提供します。これらをアプリックスがワンストップで提供することにより、それぞれを一つから開発することと比べ、開発期間の短縮や費用の削減を図ることができます。

また図に示す箇所のほかにも、コンサルティング、各種テスト、販売後の運用・保守などもアプリックスが担当可能です。

(3) 提供物のカスタマイズや家電以外への対応も可能

AIアシスタントとの連携に必須になるアドオンプログラム「Alexaスキル」や「Assistant App」の開発だけをアプリックスに任せるなど、一部だけをアプリックスが担当することもできます。

またIoTモジュールを必要としないWebサービスのAIアシスタント対応や、アプリックス製以外のIoTモジュールを使う家電開発案件なども、アプリックスで受託することが可能です。

(4) 家電対応実績あり

2016年秋に発売された米国 Guardian Technologies LLC 製空気清浄機に対し、アプリックスは2017年2月に Amazon Alexa 対応^{※1}を、2018年4月に Google アシスタント対応^{※2}を行いました。また、2017年6月には、「Amazon Alexa 対応家電向けIoTソリューション」を提供開始しました^{※3}。

このサービスには、これらで培った経験やノウハウが活かされています。

アプリックスはこのサービスにより、音声で操作できるお客様の新しい製品やサービスの早期実現を支援していきます。

※1 2017/02/07 付プレスリリース「米国 Guardian 社製空気清浄機操作のための Alexa Skill を提供開始」参照。

※2 2018/04/24 付プレスリリース「米国 Guardian 社製空気清浄機への Google アシスタント対応を実施」参照。

※3 2017/06/05 付プレスリリース「Amazon Alexa 対応家電向けトータル IoT ソリューションを発売」参照。

以上

■株式会社アプリックスについて

アプリックスの使命は「ソフトウェアの力で世の中のあらゆる人々に幸せをもたらすこと」です。携帯電話でのJava利用という新しいフロンティアを切り開いた「JBlend」に続き、開拓中の分野が、IoT(Internet of Things)です。当社ではIoTモジュール(ビーコン)、スマホアプリ、クラウドサービス等のIoTソリューションを一貫して提供することで、家電製品等のIoT化を推し進め、「モノからの通知によって人々の生活を豊かにする」というコンセプトの実現を目指しております。

アプリックスのwebsite(投資家情報等):<http://www.aplix.co.jp/>

アプリックスのテクノロジー事業:<http://business.aplix.co.jp/>

■お問い合わせ先:

お問い合わせのページ:<http://www.aplix.co.jp/inquiry/>

※ 記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。